

木津川は、土佐堀川から分かれて南に流れ、大阪湾に注いでいます。大阪ドームシティ付近では、水の都・大阪として魅力ある水辺の文化を創造するため、幅の広い堤防を整備して治水の安全性を高めるとともに、川とまちが一体となった親水性の高い河川空間づくりが行われています。



10 大阪ドームシティと木津川

20 土佐堀川から流入する木津川と昭和橋、端建蔵橋、船津橋

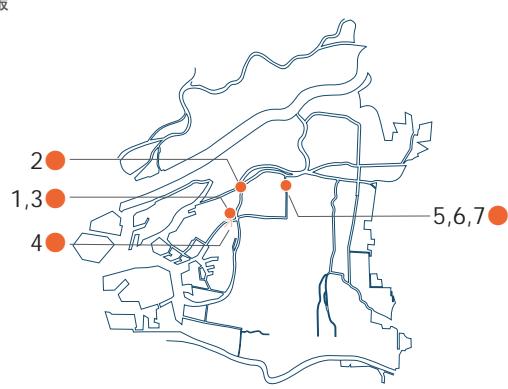
つながる川とまち



10 大阪ドームシティと木津川（夜景）



4 ● 大阪ドーム周辺空撮



難攻不落の大坂城、西の惣構

(惣構) 城の最も外側に築かれる防衛施設で、大川・東横堀川などがこの役を果たしていました。その中で、東横堀川は、物資輸送路としても機能していました。



5 ● 現役の橋としては大阪市内最古の橋である本町橋（中央区）



近接する拠点的な施設（左より）クリスタ長堀・大阪産業創造館・マイドームおおさか・大阪城天守閣

東横堀川

(延長約2.4キロメートル)

土佐堀川から分枝する東横堀川は、大阪城の築城に際して、天正13年（1585）に豊臣秀吉によってその外濠として掘られた川です。

平成13年（2001）には、高麗橋付近に水位の制御や閘門機能を併せ持った東横堀川水門が完成しました。道頓堀川につながる東横堀川は、天神祭のどんどこ船や歌舞伎の船乗り込みのルートになっています。



6 東横堀川水門



7 ● 東横堀川を通る歌舞伎の船乗り込